

令和7年度 府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・ ひらがな、カタカナの字形を正しく整えて書くこと。 ・ 「は」「を」「へ」を正しく使って文を書くこと。 ・ 正しい姿勢で聞く、人の話を最後まで聞く、考えながら聞くなどに気を付けて、正しい方法で話を聞くこと。	・ 授業を問わず、ひらがな・カタカナの良い形を意識させ、ゆっくり丁寧に書くよう常に声をかけていく。【表現】 ・ 日記を継続的に取り組ませるなど、文章を書く機会を増やす。【表現】 ・ スピーチや発表の機会を増やし、話すこと・聞くことの大切さに気付かせる。【発見・対話】		
算数	・ 10の合成・分解を定着させること。 ・ 文章題を読んで理解し、場面を想起して必要な手立てや手順を考えるなど、場面に応じた立式をすること。 ・ 数量や図形に親しみ、算数で学んだことを日常生活や学習に活用しようとする。	・ 具体物や両手の指を使って考えることを取り入れたり、日頃から10の合成・分解を意識させるような声掛けをしたりする。【発見】 ・ 文章題を図式化したり、キーワードを思い出させたりするとともに、必要な手立てや手順の意味や良さを折に触れて気付かせる。【発見・対話・決定・表現】 ・ 具体物操作や図に表す活動を日常的に取り入れたり、日常生活の場面を加法や減法の式に表したりすることで、その良さに気付かせる。【発見・表現】		
生活	・ 季節の遊びに進んで親しみ、活動の見通しをもったり、次の活動を考えたりしているので、それをもとに自分たちの生活に結び付けること。	・ 教師とともに学習計画を立て、児童と一緒に単元のゴールを確認する。段階的に自分たちで見通しをもち決めていけるような工夫を行っていく。【発見】【決定】 ・ 振り返りで、生活と結び付けるような発言を全体へ広げたり、支援や助言を行ったりする。【発見・表現】		
音楽	・ 鍵盤楽器に親しみながら、さらに鍵盤の特徴や音の高低などをしっかりと理解すること。 ・ 曲想と旋律や呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わりを楽しみながら、歌詞の表す情景や気持ちとの関わりを歌唱に表現すること。	・ 自分や友達の鍵盤ハーモニカの音色をよく聞き、ドやソの位置を覚え、息の使い方を意識しながら演奏する学習をする。【表現】 ・ 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声や発音に気を付けて歌う機会を増やす。【表現】【発見】		
図画工作	・ 道具の基本的な扱い方を理解すること。 ・ 見本をみて同じものを作るだけでなく、想像して思い描くこと。	・ はさみ、のり、絵の具、クレヨンなどの基本的な使い方を体験的に学ばせ、楽しみながら慣れることができるようにする。【対話・発見・決定】 ・ 様々な材料と関わる造形活動を通して、楽しみながら体全体を働かせ、自分の感覚でものを見たり感じたりできるようにする。【表現・発見】		
体育	・ 走る、跳ぶ、投げるとき、体の基本的な動かし方を考えながら運動すること。	・ 体のバランスをとったり、移動したりする動きや、用具を操作したり、力試しをしたりする動きを運動遊びとして、楽しく経験しながら様々な動きを身に付けていく。【対話・発見・表現・決定】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・ 漢字・言葉の意味を習得すること。 ・ 話のまとまりを考えながら順序良く書くこと。 ・ 話を聞いて、大事な言葉や内容を取捨選択すること。 ・ 振り返りの観点のバリエーションを増やすこと。	・ 漢字練習の時間を授業時に確保し定着を図る。学びが定着するように、既習の漢字を使った文作りを宿題の内容に加え、正しい使い方ができ、筆順や字形を覚えられるようにする。語彙を増やしながら、日常の使用につなげていく。【表現】 ・ 日記を継続するなど、習った字を使って文を書く機会を増やす。「はじめ・中・終わり」の構成、会話文の入れ方、原稿用紙の使い方などを、きめ細かく、達成感が得られるように指導する。【表現】 ・ スピーチの時間をとり、全体に向けて発信することに慣れるようにする。話し手は伝えることを明確にし、聞き手は内容を考えながら聞くよう視覚的にポイントをわかりやすく提示する。【対話】 ・ 振り返りの書き方の基本を定着させるために話型を示す。のちに自分自身の気付きや次につながる振り返りになるよう段階を追って示して指導していく。【発見・決定・表現】		
算数	・ 数の概念、構成についての理解を深めること。 ・ 時計の読み方、時刻と時間についての理解を深めること。 ・ 長さやかさの単位の理解や量感を定着させること。 ・ 式の意味を考えて立式すること。	・ 具体物やデジタル教材を活用して、操作活動を多く取り入れるようにする。【発見・表現】 ・ 日常生活では、教師が時刻と時間を意識して使い分け、話したり、確認したりするとともに、模型時計を操作させたり、デジタルコンテンツや図で表したりするなど、操作活動と視覚情報を通して学習内容が理解できるように工夫する。【表現】 ・ 日常の中で、水の量を比べたり、物の長さを比べたりする活動を取り入れながら、量感を養う活動を取り入れていく。【発見・対話】 ・ 問題文を読み、「分かっていること」「問われていること」に印をつけ、問題の内容が理解できるよう絵や図、具体物などを活用しながら増減の様子を捉えさせ、立式につなげていく。さらに、考え方を図に表す方法にも取り組ませる。【決定・表現】		
生活	・ 自分たちで見通しをもち、より主体的に取り組むこと。 ・ 自分たちの生活に結び付けて考えること。	・ 教師とともに学習計画を立て、児童の疑問、気付き、願いをもとに単元のゴールを確認する。徐々に自分たちで見通しをもち決めていけるような工夫を行っていく。【発見・決定】 ・ 活動する際の視点やポイントを児童に明確に示し、授業の中での振り返りを通して実生活と結び付けて考えていく支援や助言を行う。【発見・表現】		
音楽	・ 歌唱の際に、声の響きや音量の調整を意識すること。 ・ 鍵盤ハーモニカでのタンギングの技能を向上させること。	・ 季節や行事に合わせた歌や、児童の意見に沿った曲を取り入れ、一人一人の声が合わさると音は広がりをもっていくことを経験させる。【表現】 ・ 鍵盤ハーモニカの指遣いやタンギングなどの技術を習得する。習得につまづきのある児童については、教師が個別支援を行い、学級全体には教科書をもとにリズム学習を行う。【表現】		

令和7年度 府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

図画工作	・ 道具の適切な使い方を身に付けること。 ・ 鑑賞や活動の振り返りの経験を増やすこと。	・ ハサミ、のり、カッターナイフ、絵の具などの基本的な使い方を身に付けさせる。指先で糊をつける、紙をちぎるなど、指先をたくさん使わせる。【表現】 ・ 自分の見方や感じ方を広げられるよう、児童同士の作品や身の回りの色や形、造形活動で用いられる材料を、見たり感じたりする時間を確保する。また、感じ取ったことを記録し、学んだことを蓄積し、次の題材へつなげられるようにする。 【発見・対話・表現】		
体育	・ いろいろな体の動かし方の経験を増やすこと。 ・ 友達の動きの良さや自分の体の気付きを、表現すること。	・ 年間指導計画に基づき6年生まで見通し、様々な動きや思考が働く運動遊びの経験を多く積んで楽しさを味わせる。 【発見】 ・ 教師が率先して努力していた児童を認めることで、児童同士でよいところを見付け合い、認め合うことができるようにする。 【発見・対話・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・ 既習漢字の定着をさせること。 ・ 読むことへの苦手意識が強い児童がいること。 ・ 自分の思いを文章で書いたり、話したりする力を高めること。	・ 字の成り立ちや字がもつ意味に着目させ、漢字の部分に関する共通点や漢字の使い分けについて気付きをもてるような活動を設定し、漢字への関心を高めていく。また、練習や小テストを繰り返し行い、授業時間に練習時間を確保するようにし、定着を図る。【発見】 ・ 読む学習を通して、分かりやすい文章の構成には共通点があることに気付くような学習活動を設定する。【発見】また、読み取った内容や感想を交流する活動を設定し、自分が読み取ったことを改めて確認させるようにする。【対話】 ・ 読む活動で学んだ構成を書くことに生かしていく。また、多様な表現を出し合うなど、語彙や表現を豊かにする学習活動を設定し、自分らしい表現をする力につながるよう指導する。【対話】【表現】		
算数	・ 基礎的な計算技能を習熟すること。 ・ 文章から大事な言葉を見つけて立式することはできるが、文章を読んで場面を想像することは難しいこと。 ・ 数の構成や量感をとらえる力を高めること。	・ 繰り上がりや繰り下りの筆算の方法を確認し、繰返し問題を解くことでさらに定着を図る。【発見】 ・ 文章問題から図をかき、図から立式するという流れをパターン化して場面を想像できるようにする。想像しづらい児童には、問題場面を動作化して確認するようにする。【発見・表現】 ・ 生活の中にあるものの量感や単位を意識した活動等を取り入れる。【発見・表現】 ・ 自分の考えをもつ時間を確保し、ノートに書いたり、友達の考えを聞いたり、振り返ったりする機会を充実させる。【対話・決定】		
理科	・ 観察したことを記録する力を高めること。 ・ 身近な生活と関連付けて予想し、仮説を立てる力を高めること。 ・ 学習したことを生活に照らし合わせて、事象を考えたり汎用したりしていく力を高めること。	・ 観察したことを視点ごとに記録できるカードを用意し、得た情報を分類し記録する力を付けていく。【発見・表現】 ・ ノートやプリントに問題・予想・結果・分かったことを書くように指導してその思考の枠組みの定着を図り、実践ができているのか否かをノートの確認により適宜判断する。【決定】 ・ 映像教材を適宜取り入れることで、児童の発想や想像の一助とする。映像を通して見たことを、児童の身近な実生活と関連づけさせられるように指導する。【発見】 ・ 学習した植物や昆虫以外の生き物の生態にも触れ、興味関心を高めると共に、学習した内容を生活に生かすことができるようにする。単元の終末には、自分の学習を振り返り、友達と学んだことを交流する機会を設定する。【発見・対話】		
社会	・ 主体的に学習計画を立てたり、調べたりする力を高めること。 ・ 東西南北や地図記号、市内の交通などについて知識の定着を図ること。	・ 見学や体験活動を多く設定していく。また、単元の初めに、学習活動の見通しがもてるよう計画を立てる時間を十分に設定し、目標への意識を高め、見学や体験活動の意欲付けにする。【発見・決定】 ・ ICT やカードゲームなどを活用し、繰返しの学習の中で定着を図り、友達と互いに定着を確かめ合ったり、グループ活動の中で定着を図ったりする。【対話】		

令和7年度 府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

音楽	・ソプラノリコーダーの演奏の技能に個人差があること。 ・思いや意図をもって表現できる児童と苦手な児童の個人差があること。 ・聴いた音に対して感じたことを言葉で表現する力を高めること。	・ソプラノリコーダーの指遣いやタンギングなどの技術を習得し、奏法の定着を図る。また、苦手意識のある児童に対して個別指導を行い、練習する時間を確保する。【発見】 ・歌詞の内容を考える場面を授業の中で設定して、内容にあった歌い方を自分たちで考えるように指導していく【発見・対話】 ・季節や行事に合わせた歌や、児童の意見に沿った曲を入れ、一人一人の声が合わさると音は広がりをもっていくことの経験をさせる【発見】		
図画工作	・想像力をさらに高めること。 ・道具の基本的な扱いについての技能を高めること。 ・他者の作品に関心はもち、自分の作品に生かすこと。	・想像力を働かせやすいように、教師の試作品や、教科書などの参考作品を見せたり、ヒントになる言葉を具体的に示したりする。【発見】 ・製作途中でも、よくできているところを評価し意欲を持続できるようにする。また、その良さをクラス全体に紹介し、造形活動に活かす。 【発見・表現】 ・道具類（ハサミやノリ）の使い方は図工以外の教科でも、留意点や使い方のポイントを指導する。絵の具の使い方は技能的な指導（筆の使い方、混色など）も丁寧に行う。【表現】		
体育	・体の動かし方の器用さに個人差があること。	・児童に本時のめあてを明確に伝え、学習の見通しをもたせる。また、実演や友達の良い動きを共有していく。【発見・対話】 ・上手に運動している児童だけでなく、運動が苦手な児童で、できなかったことができるようになった児童を紹介することで、友達のことを認め合えるようにし、運動の楽しさを味わわせる。 【対話・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・既習漢字を定着させ、日常的に活用すること。 ・文章の構成を理解し、伝えたいことを読み取ること。 ・最後まで落ち着いて話を聞き、大事なことを落とさずに正しく聞きとること。	・漢字をただ覚えるのではなく、漢字の部首・意味・使い分けなどに着目する活動を取り入れて関心を高めるとともに、漢字で表す便利さや分かりやすさに気付かせる。自分に合う練習方法を発見させ、工夫しながら主体的・継続的に練習に取り組ませ、定着を図る。【発見】【決定】 ・接続詞や内容の共通点・対比などの関係に気付く学習活動を設定し、主体的に構成や要点を考えて課題解決する糸口を発見させる。大事な所にラインを引くなどの活動をしながら読み取り、読み取ったことを交流して課題を解決する。【発見】【対話】 ・様々な学習形態で考えを伝え合う活動を設定し、メモなどを活用して内容を整理しながら話を聞けるようにする。【対話】【表現】		
算数	・基本的な計算技能を習熟すること。 ・自分の考えを図や式、言葉で表現すること。 ・文章から状況を読み取り、立式すること。	・繰り上がり、繰り下がり、九九など既習事項を何度も繰り返し確認することで習熟を図る。知識をしっかりと定着させることで今後の学習での気付きにつなげる。【発見】 ・友達の意見を共有することで表現の幅を広げ、自分の考えを伝えられるようにする。【表現】【対話】【決定】 ・図や具体物を用いることで文章を理解し、立式できるようにする。【発見】【表現】		
理科	・観察の視点を明確にし、記録すること。 ・実生活と関連付けて、予想や仮説を立てること。 ・学習したことを生活に照らし合わせて、事象を考えたり汎用したりしていくこと。	・児童の作成した観察カードを掲示するなど、観察した内容やその視点を互いに共有できるようにする。【発見】【対話】 ・映像教材を適宜取り入れることで、児童の発想や想像の一助とする。映像を通して見たことを、児童の身近な実生活と関連付けさせられるように指導する。【発見】【表現】 ・単元始めの気付きや疑問から「問い」を立て、実験や観察の視点や計画を自分（たち）で考えて、解決できるようにする。【発見】【決定】		
社会	・資料から情報を読み取ること。 ・資料から読み取った内容を自分の言葉でノートにまとめたり、友達に伝えたりすること。 ・学んだことをつなげて考えること。	・提示する資料を精選し、どの資料から考えたのかを問い掛けることで、資料から考え、読み取る力を養う。【発見】 ・ノートを共有したり、話し合いを中心に学習を進めたりすることで、自分の言葉で伝える場面を増やすとともに、友達の気付きやよいノートのまとめ方を吸収し、表現の幅を増やせるようにする。【発見】【表現】【対話】 ・教師が既習事項とつなげる発問を行い、学習と学習のつながりに気付き、学びを深められるようにする。【発見】		
音楽	・ソプラノリコーダーの演奏の技能に個人差があること。 ・思いや意図をもって表現できる児童と苦手な児童の個人差があること。 ・聴いた音に対して感じたことを言葉で表現する力を高めること	・ソプラノリコーダーの指遣いやタンギングなどの技術を習得し、奏法の定着を図る。また、苦手意識のある児童に対して個別指導を行い、練習する時間を確保する。【発見】 ・歌詞の内容を考える場面を授業の中で設定して、内容にあった歌い方を自分たちで考えるように指導していく。【発見・対話】 ・季節や行事に合わせた歌や、児童の意見に沿った曲を入れ、一人一人の声が合わさると音は広がりをもっていくことを経験させる。【発見】		

令和7年度 府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

図画工作	・ 道具の基本的な扱いについての技能を高めること。 ・ 自分の見方や感じ方を広げること。	・ 道具類（カッターナイフや接着剤や彫刻刀）の正しい使い方や留意点を、動画や実演をして見せることで、安全に表現活動を行えるようにする。【表現】 ・ 自分の見方や感じ方を広げられるように、タブレットを活用させたり、ヒントとなるパーツを提示したり、教え合う活動を取り入れたりする。【発見・決定・表現】 ・ 活動途中でも、よくできているところを評価し意欲を持続できるようにする。また、そのよさをクラス全体に紹介し、造形活動に生かす。【発見・表現】		
体育	・ 体力や運動能力に個人差があること。 ・ 自己の課題に気付き、粘り強く取り組むこと。 ・ その日の学習を振り返り、次の学習につなげること。	・ 体の動かし方を一緒に確認し、相言葉など覚えやすいフレーズを作ることによって楽しく運動できるようにする。【発見】【対話】 ・ ICTの活用や対話の時間を確保することで、自己の課題に気付き、粘り強く取り組む力を育てる。【対話】【決定】 ・ 学習カードを活用し、前回の学習を踏まえて本時のめあてを設定させることで、学習と学習をつなげていく。また振り返るときは詳しく振り返ることができるよう支援する。【表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・ 叙述をもとに、登場人物の心情の変化を捉えて読むこと。 ・ 文章の構成を考えながら書くこと。 ・ 話を理解しながら聞くこと。	・ 本文を繰り返し読むこと、それをもとに情景や様子、人物の心情の変化を捉える活動の中に入れる。【発見・対話・表現】 ・ 文章構成を練る時間を確保し、文章の書き方を丁寧に指導する。よいモデルを示したり、書いた文章をペアなどで見合ったりする。【発見・対話】 ・ 考えを伝え合う活動を設定し、メモなどを活用して内容を整理しながら話を聞けるようにする。【対話】		
算数	・ 学習の過程を自分の言葉で説明し、友達にも伝えられること。 ・ 学んだことを振り返り、他の学習や生活とつなげて考えること。	・ 数の仕組みをとらえ【発見】、位取りや十進法の考え方、倍数・約数の考え方とつなげることで、大きな数や小数、分数の計算の仕方を説明させる。【表現】 ・ グループ学習を取り入れることで【対話】、計算の仕方を説明したり、図形の角の性質、面積の求め方等について気付いたことを説明したりさせる。【表現】 ・ 既習事項をつなげて考えると、新しい図形の求積ができることに気付かせる。【発見】		
理科	・ 生き物への興味・関心は高いが、比べたり、関連付けたりしたことをまとめて記述すること。 ・ 実験や観察には意欲的に活動できるが、結果から考察すること。	・ ノートや観察カードを交流するなど、観察したことをお互いに共有できるようにする。友達の良い視点に気付けるよう指導する。【発見・表現】 ・ 問題把握、予想・仮説、観察・実験、結果、考察、結論といった探求のための基本的なプロセスを踏まえた学習を計画し、ノートやプリントに問題・予想・結果・分かったことを書くことが定着していくよう指導する。【決定・表現】		
社会	・ 資料の読み取りを難しく考えてしまうこと。 ・ 自分が不思議に思ったことやもっと知りたいと思ったことについて探究する。	・ 学習課題に応じて適切な資料を精選し、読み取りを丁寧に言い、ペアやグループで交流する。【発見・対話・表現】 ・ 児童が自分で気付きや疑問から学習問題を設定し、計画を立てて学びを深める。資料の提示を工夫したり、振り返りの話型を整えたりして気付きや疑問が自分の中で整理できるように指導の工夫をする。【発見・決定・表現】		
音楽	・ 自分の意見や意図、感想を書くこと、発表すること。 ・ 知識、技能（特にリコーダー奏）の個人差が大きいこと。	・ 小グループで気付いたこと思ったこと感じたことを共有することにより、いろいろな意見があることを発見し、自分の意見と繋ぎ合わせ表出できるようにする。【発見・対話・表現】 ・ 苦手意識のある児童に対しては個別指導を行い、練習する時間を確保する。また、運指表をホワイトボードや電子黒板に示しておく。【発見・対話】 ・ 特に鑑賞では、聴き取ったこと感じ取ったことを共有することにより、いろいろな意見があることを発見し、自分の意見と繋ぎ合わせ表出できるようにする。【発見・対話・表現】		
図画工作	・ 正しく安全な道具扱いについて理解し、技能を高めること。 ・ つくりたいものを発想し、自ら考えてよりよく形や色に表すこと。	・ 動画を用いて使い方を理解させ、使い方を確認することで、電動糸のこぎりや彫刻刀など、目的に合わせた道具の使い方を確実に身に付けさせる。【表現】 ・ 自分たちの作品や、日本や外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などを鑑賞する活動		

令和7年度 府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

		を設け、造形的なよさや美しさを感じ取ったり考えたりしたことを共有し、自分の見方や感じ方を深められるようにする。また、感じ取ったことをもとに発想し、表現につなげられるようにする。【発見・対話・表現】		
家庭	・ 基礎的な技能の習得において、個人差が大きいこと。 ・ 自分の生活の課題を考え、解決に向かって取り組むこと。	・ 基礎的な技能の習得の段階において、教科書に付随する動画のコンテンツ等を利用して教師の師範や説明以外にも自分で解決できる方法を提示し、選ばせる。【決定】 ・ 児童の実態に即した教材を選び、提示することやロールプレイなどを取り入れながら、自分の生活の課題に気付かせる【発見】		
体育	・ ペア学習やグループ活動によって、友達と関わり合い、助け合いながら運動することを楽しんでいるが、体力がなく、適切な体の動かし方を身に付けること。	・ 少しでもできたと思えるような形で運動に参加できるようにするために、少しずつ課題を設定する。また、友達と関わり合い楽しく学習に参加できる学習環境と計画を考える。【対話・決定】 ・ 授業のはじめと終わりに学習の流れを確認し、話し合いの場を設け、今日の頑張りポイント（頑張ったポイント）の話し合いを行う。ゲームや運動を終えた後に児童たちの振り返りから良い点を挙げ、自己肯定感を高める指導をしていく。【発見・対話・表現】		
外国語	・ 個人で発話することに難しさを感じてしまうこと。 ・ パフォーマンステストの結果に差が開いてしまうこと。	・ ターゲットセンテンスをしっかりと理解させ、ペアや個人で練習する時間を増やし、教員やALTが助言をしながら、答えられるようにする。【発見・表現・対話】 ・ 何度も発話をさせ、児童に十分に自信がつくように練習回数を増やす。【表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・ 叙述をもとに、登場人物の心情や人物同士の関係の変化を捉えること。 ・ 説得力のある文章を書くために、筋道立てて構成を考えたり文章を書いたりすること。 ・ 相手の返答を受けて、より詳しい話を引き出すために質問すること。	・ 自分の意見を入れて構成を組み立てていくことに、個別と共有の時間を十分に確保し、推敲する力を養う。【発見・対話】 ・ 本文を繰り返し読むこと、それを基に情景や様子、物語の全体像を捉えることを活動の中に取り入れる。【発見・対話・表現】 ・ 話を広げたり深めたりするために、相手の返答を予想し、それに対する質問を友達と一緒に考えておく。【対話】		
算数	・ 学習の過程を自分の言葉で説明し、友達にも伝えられること。 ・ 学んだことを振り返り、他の学習や生活とつなげて考えること。	・ やり方を暗記するのではなく、既習事項をつなげて思考の道筋を明らかにすることで学びの定着を図る。【発見】 ・ 学んだことが、どんな学習や生活場面に生かせそうかを友達と話し合うことで学びを広げる。【対話】 ・ 問題場面を線分図や数直線に表すと数量関係が的確にとらえられることに気付く【発見】、正しく立式できるようにする。【表現】		
理科	・ 実験結果を分析・解釈して、自分の言葉で考察を書くこと。	・ 実験結果を正しく読み取り、そこから正しく解釈できるようにする。 ・ 実験結果を学級で共有し、他のグループも同じような結果になったかを確認する（一般化）。		
社会	・ 学んだことを基に考えを深めること。 ・ 資料を分析して考えること。	・ 学んでいく中で気付いたことや疑問を共有できるように教室の環境を効果的に活用し、それらを自分で解決したり、「もし、〇〇だったら」と自分事として考えたりできるようにして学習を深めていく。【発見・表現】 ・ 資料から分かることや疑問を発表する機会を設け、互いに確認しながら調べ、考えを深められるようにする。【発見・対話】		
音楽	・ きれいに響く声で歌うことができているが、自信をもち歌唱表現すること。 ・ グループ活動では活発に話をしているが、自分の意見や意図、感想を書くこと、発表すること。	・ 季節の歌や児童の意見も取り入れた行事の曲に合わせた歌を選択し、一人一人の声が合わせり音の響きのよさを経験させる。【発見】 ・ 鑑賞の際に聴き取ったことや感じ取ったことを共有することで、いろいろな意見があることを発見させ、自分の意見と繋ぎ合わせ表出できるようにする。【発見・対話・表現】		
図画工作	・ 正しく安全な道具の扱いについて理解し、技能を高めること。 ・ つくりたいものを発想し、自ら考えてよりよく形や色に表すこと。	・ 動画を用いて使い方を確認、理解させることで、電動糸のこぎりやドライバー、彫刻刀等、目的に合わせた道具の使い方を確実に身に付けさせる。【表現】 ・ 自分たちの作品や、日本や外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などを鑑賞する活動を設け、造形的なよさや美しさを感じ取ったり考えたりしたことを共有し、自分の見方や感じ方を深められるようにする。また、感じ取ったことをもとに発想し、表現につなげられるようにする。【発見・対話・表現】		
家庭	・ 個人の中で意欲的に取り組むことができる題材と、そうでない題材の差があること。 ・ 自分の生活と関連させて、課題や授業に取り組むこと。	・ 自分の課題を考え、どのような方法で取り組めばよいのかを考えさせ、授業の始めに取り組ませる。その際振り返りをして次回の学習につなげる。【発見】		

令和7年度 府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

体育	・運動領域によって経験の差があり、運動技能に個人差があること。 ・適切な体の動かし方を身に付けること。 ・めあてを意識し、自分で課題を設定しながら学習すること。	・技のコツやポイントを実演や図解などで理解させ、学習カード等を活用しながら学習の振り返りをしていく。【発見・表現】 ・児童の様々のめあてに沿った練習ができるよう、場の設定を工夫する。【決定】 ・意図的、計画的にペアやグループ（チーム）を組み、互いに見合う場を設けて「学び合い」を促進する。【対話・表現】		
外国語	・自分の力で調べること。 ・ワークテストとパフォーマンステストの結果の差が大きいこと。	・参考となる資料を明確に提示し、自分の力で取り組ませる場面を設定する。【発見】 ・声に出して表現する場面を設定していく。発話・書き取りのアウトプットする時間を増やす。【表現・対話】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。